



ちいさきものへ

顕微鏡で覗かないと見えない、小さな微生物の世界。
気が遠くなるほど細やかで精巧なミニチュア。
手に乗るくらい小さな、愛らしい小動物。
いとけない子どもたちもまた、手をかけ、守るべき、小さき者。
さまざまな「ちいさきもの」に心を寄せて、本をご紹介します。

前途は遠い。そして暗い。しかし恐れてはならぬ。恐れない者の
前に道は開ける。
行け。勇んで。小さき者よ。

『小さき者へ・生れ出ずる悩み』 有島武郎著 岩波文庫 2004年

幼くして母を病で亡くしてしまった、自らの3人の子どもたちに向けて、
力強く、温かく語りかける掌編・『小さき者へ』。

芸術の道に進むのか、漁師の稼業に身を捧げるのか。夢と現実の生活の
間で懊悩する青年の姿を、雄大な自然描写と共に描く中編・『生れ出ずる
悩み』。有島武郎の代表作2編が収録されています。

全編が子を思う親の愛情に満ちた『小さき者へ』は、その一言一言に、
子どもたちへの深い思いが込められていて、胸打たれます。有島武郎が実
際に出会った青年がモデルとなっている『生れ出ずる悩み』は、理想と現
実の相克に引き裂かれる青年の苦悩に、自身の作家としての苦悩を重ねな
がら、「君」という人称を用いて、青年の姿を温かいまなざしで描いてい
ます。力強く美しい風景描写が印象的で、特に中盤、十数ページにわたっ
て展開される嵐の海での遭難シーンは圧巻の一言。

時代を超えて心に残る名作です。

君よ春が来るのだ。冬の後には春が来るのだ。

『顕微鏡で見るミクロの世界 仕組み・使い方・撮影テクニックがわかる』
山村紳一郎著 誠文堂新光社 2012年



無数の発見を成し遂げ、人類の発展に貢献してきた顕微鏡は、有用な科学道具であると同時に、ミクロの世界への入口を開いてくれるものでもあります。顕微鏡の仕組みから、使い方、写真の撮り方、顕微鏡を使ったあそびまで、分かりやすく紹介する、顕微鏡観察を楽しむためのガイドブック。不思議で美しい、ミクロの世界を探検してみましよう！



『クラフトバンドで作るカンタン！ミニチュアハウス』
ゆめひもフレンドシップ編 アップルミンツ 2016年

環境にやさしいエコな紙紐・クラフトバンドを使って、ミニチュアハウスを作ってみよう！ 学校・こども部屋・ハワイアン・カフェ・ガーデンなど、さまざまなシーンを再現した、カンタンかわいい1/12サイズの小物の作り方を、写真入りでやさしく解説します。作品集としても、レッスンブックとしても、初心者にとってうれしい一冊です。

『赤ちゃんとママのベビーサイン』

お手で話すともっともっと楽しくなるよ！』

吉中みちる著 主婦の友社 2010年



まだおしゃべりできる前の赤ちゃんと、手話やジェスチャーなど、手の動きを使ってお手での会話を楽しむ育児法。それがベビーサインです。朝起きてからおやすみなさいをするまでの、シーン別ベビーサインの使い方をカラー写真でたっぷりご紹介します。



『リス 住まい、食べ物、接し方、病気がすぐわかる！』
大野瑞絵著 井川俊彦写真 誠文堂新光社 2015年

お部屋の中に小さな野生の世界を持ち込んでくれる、愛らしい小動物シマリス。初めてシマリスを迎える人を対象に、住まい、食事、毎日の世話、コミュニケーションのとり方、健康管理などの基本的な飼い方を、写真とイラストで紹介します。かわいいシマリスと毎日楽しく暮らすためのマスターブックです。